

2019年度事業報告書

特定非営利活動法人 釜ヶ崎支援機構

I 事業期間

2019年4月1日～2020年3月31日

II 事業の成果と課題

(1) 旧あいりん総合センター北側の活用について大阪市へ地域団体統一の要望書を提出

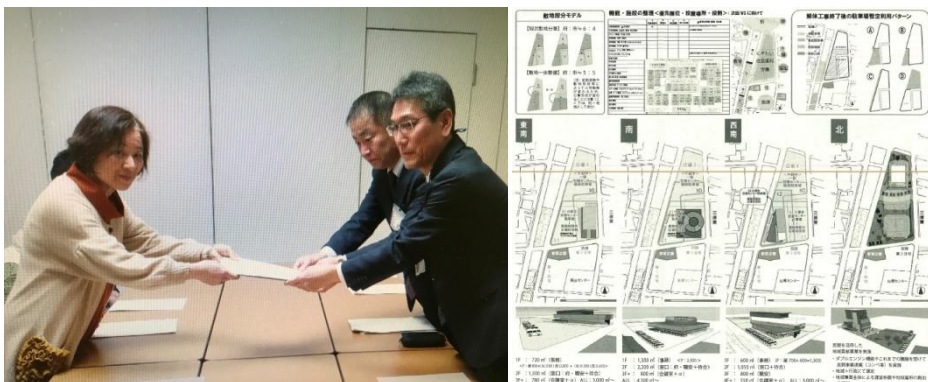
あいりん総合センターの建て替えをめぐり、地域の団体と行政の話し合いが進んできました。労働施設が旧センター跡地の南側に決まろうとする中で、北側部分の活用方法について、地域で活動する61団体と共に、統一要望書を、2月18日、大阪市長に提出しました。要望は、「売却に進もう」という方向性がちらほらと聞かれたり、屋台村構想を報じた新聞報道では新なにわ筋線建設と関係した再開発が進むと書かれていたりということがある中で、ボトムアップ方式で進められてきたまちづくり会議の経過を踏まえるよう改めて求める内容です。

以下は要望書の抜粋です。

「「あいりん地域」(釜ヶ崎)は今後も福祉的ニーズの極めて高い街で在り続けます。また将来の大阪市では高齢化がさらに進展すると予測されています。この傾向が最も進んでいる西成区、特に「あいりん地域」(釜ヶ崎)において、様々な地域の活性化策を取り入れつつ、高齢者・子ども・障害を持つ方に優しく、かつ生活課題を抱えた様々な世代の人々が豊かな関係を取り結ぶことができるような、多様性を基本理念としたコミュニティセンター及び広場を、建設・運営いただきますようお願いいたします。

(1)「旧あいりん総合センターと萩之茶屋第2住宅の敷地及び両敷地の間にある市道」における市有地を売却しないでください。

(2)「あいりん地域」(釜ヶ崎)の福祉的ニーズの高さや今後の大阪市の高齢化の進展に対応したコミュニティセンター及び広場を建設・運営していただきますようお願いいたします。」



※写真は、要望書を大阪市西成区に提出するサポーターティブハウス連絡協議会山田尚実代表

(4) 府民の森、枚岡公園のサウンディング調査に参加

ホームレス状態で生活する方、不安定就労に従事する方と共に、働く場を確保するため、府民の森及び枚岡公園のサウンディング調査に参加しました。ワーカーズコープセンター事業団・はんしんワーカーズコープと協力して、取り組みました。かつて自立支援センター入所者の就労訓練として府民の森の維持管理を行っていた実績をもとに時代に対応した新しい提案を行いました。



(5) 大阪府・大阪市に対する提言

釜ヶ崎就労・生活保障制度の実現をめざす連絡会の一員として、2019年11月12日に『これからの時代に対応した労働・福祉の包括的な施策推進による釜ヶ崎対策を求める要望書』を、2020年1月6日に大阪府・大阪市にそれぞれ年始の要望書を提出して、大阪府・大阪市に対して提言を行いました。



(6) 釜ヶ崎の夏祭り・越冬闘争に、資材準備・設営・経理等で参加しました。

釜ヶ崎の人々と共に、野宿を強いられない社会を求めて、地域の団体と協力して、夏祭り・越冬闘争に参加しました。



Ⅲ事業の実施状況

(1) 就労機会提供事業

① 高齢日雇労働者就労自立支援事業

大阪府から「あいりん地域高齢日雇労働者就労自立支援事業」を受託しました。

そのうち「あいりん地域外清掃業務」では、のべ17,183人を雇用して、府立施設・府立高校・道路・河川等で、除草・清掃・剪定等の作業を行いました。

「西成労働福祉センター周辺交通安全警備業務」では、のべ11,549人を雇用して、あいりん労働福祉センターに出入りする求人車両の誘導ならびに清掃作業を実施しました。

【事業費総額271,405,525円。うち人件費213,067,040円、事務費35,953,331円、消費税22,385,154円】



② あいりん日雇労働者等自立支援事業高齢日雇労働者社会的就労支援業務

大阪市からは「あいりん日雇労働者等自立支援事業」内「高齢日雇労働者社会的就労支援業務」を受託しました。

そのうち、「あいりん地域内及びその周辺の環境美化に関する作業」においては、あいりん地域内及びその周辺の道路清掃、側溝清掃、除草作業を実施しました。今年度より天下茶屋駅東側ロータリーまで作業現場が広がりました。

「あいりん地域外の環境美化に関する作業」においては、市有地・道路・公園等での除草・剪定および清掃等、市立保育所でのペンキ塗り・剪定・修繕等の作業を実施しました。

両作業を併せて38,192人を雇用しました。

【事業費総額337,147,392円、うち人件費292,471,956円、事務費16,801,503円、消費税27,873,933円】



③旧あいりん労働福祉センター環境美化事業

公益財団法人西成労働福祉センターから「旧あいりん労働福祉センター環境美化事業」を受託しました。旧センターの閉鎖に伴って２０１９年度から新しく開始された事業です。のべ２，３２４人を雇用して、旧あいりん労働福祉センター敷地内の清掃や放置物の撤去作業を行いました。

【事業費総額２５，３３４，５５５円。うち人件費２１，７４４，４５６円、事務費１，５００，９１５円、消費税２，０８９，１８４円】

④あいりん労働公共職業安定所における施設管理・交通誘導警備

４月より旧あいりん総合センター内にあった、あいりん職安が南海高架下の仮庁舎に移転することになりました。それに伴い６月３０日まで早朝の施設管理業務を、９月３０日まで待合室日中の施設管理業務及び交通誘導警備業務を大阪労働局より受託しました。また、１０月１日以後は一般競争入札で落札し、３月３１日まで引き続き日中の施設管理業務と交通誘導警備業務を継続しました。

各事業部より就労支援が必要な方を受け入れ、いきいき清掃講座等と組み合わせながらステップアップの機会として活用していただきました。雇入れ人数はのべ１，２６１人となりました。

この業務を請け負い、実施することによって、旧あいりん総合センターの閉所に対応する待機場所の確保の一助を行うことができました。



※写真は、あいりん労働公共職業安定所の仮庁舎と作業員。

⑤メーデー会場清掃業務

連合大阪の協力のもと委託を受け、４月２７日連合大阪主催大阪メーデー会場の清掃を、５０名雇用して実施しました。

⑥その他請負業務

民間企業等から幅広く除草・塗装・剪定等の作業を請負って実施し、釜ヶ崎の日雇労働者やホームレス生活者の就業機会の確保に努めました。

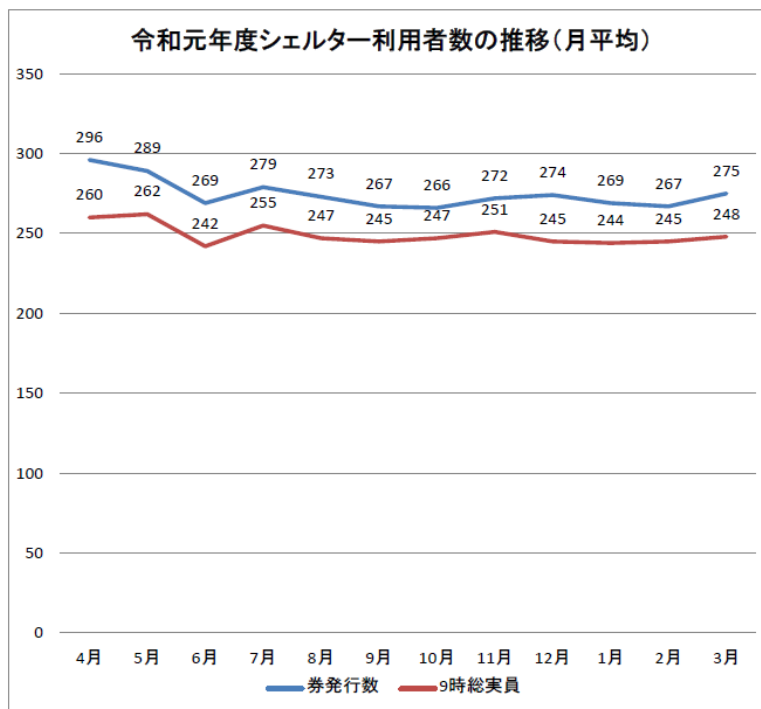
(2) 居場所提供事業

① あいりん日雇労働者等自立支援事業居場所支援

夜間シェルターの運営

大阪市から委託を受けて、あいりんシェルター管理運営業務を実施しました。開所日数は358日。のべ利用人数（21時閉門時）89,440人。

2018年度3月から夜間シェルターは朝8時30分まで利用できることになりました。2019年度3月以後新型コロナ・ウイルスの感染拡大により利用者の検温を行い、発熱した方がいれば医療センター受診を支援しています。



昼の居場所棟の運営

大阪市から委託を受けて、あいりんシェルター内昼の居場所棟（禁酒の館）にて、居場所・洗濯機・シャワー等の提供を行いました。

2019年度は、のべ利用者数152,295人となりました。開設後利用者数は右肩上がりが続いており、地域に居場所として定着してきた感があります。また週1回を基本として無料散髪を提供し、のべ285人が利用しました。夜間シェルターと昼の居場所棟とあわせて、47,249人がシャワーを利用しました。日中の荷物の置場に困る利用者のニーズに応え、スチール棚を設置しました。

【事業費総額112,883,498円。うち大阪市による当初事業費107,171,733円（人件費86,863,246円、物件費11,268,960円、消費税9,039,527円）。国庫補助による追加事業費—保護施設等の衛生管理体制確保支援等事業5,711,765円（内消費税519,251円）】

② あいりん日雇労働者等自立支援事業越年時支援

２０１９年１２月２９日から翌１月６日早朝まで、あいりん地域に居住する単身日雇労働者であって、年末年始に仕事を得られないため自ら食及び住を求めがたい方２４２人に対し、あいりんシェルターにて宿泊場所を提供するとともに食品・日用品等を支給しました。

また、地域の日雇労働者、生活困窮者からスタッフを採用し、就労機会を作りました。

【事業費総額１７，９４５，８４２円、うち人件費８，７２７，１９２円、その他経費９，２１８，６５０円】



※写真は越年時支援弁当配布のようす

(3) 相談・サポート事業

① 就業支援事業

大阪ホームレス就業支援センター運営協議会から委託を受けて、就労自立を目指す人への就職相談・就職支援事業を実施し、求人情報の提供・求人企業への紹介、面接の受け方および履歴書作成の指導をしました。履歴書用の写真撮影・提供、携帯電話・自転車・スーツ等の貸し出しを行いました。南事務所にパソコンを設置して、ハローワークインターネットサービスの求人検索用に提供しました。２０１９年度新規登録人数は１３９人、相談実人数は３２３人、相談件数は１，１０４件、常用就職実績２２人、臨時就職延人数は、２，２５７人となりました。

また、就業支援員８人を大阪府・大阪市が実施する特別清掃における現場監督・指導を行うために配置し、作業指導とともに日常の相談を実施し、就職相談・訓練事業等への中継を行いました。

【事業費総額４７，３９０，３６６円、うち人件費４０，７３１，１５１円、事務費２，３５１，０００円、消費税４，３０８，２１５円。】

② 就業開拓推進事業

大阪ホームレス就業支援センター運営協議会から委託を受けて、支援対象者に応じた個別の求人開拓、地域への貢献活動となる仕事の開拓、地域におけるチラシ配布等の広報宣伝活動を行いました。

事業所等接触件数５２７件、常用の求人件数１７人・実人員数１８１人、臨時・軽易の求人件数１３６人・実人員数３５８人。

【事業費総額４，３５２，７３５円、うち人件費３，７０２，８３２円、事務費２５４，２００円、消費税３９５，７０３円。】

③ あいりん地域不安定労働者就労支援事業

大阪府から大阪ホームレス就業支援センター運営協議会に委託された事業です。民間企業への就職に伴って4ヶ月間の助成金が企業に支払われる仕組みを活用しつつ、自立支援センター入所者やあいりん地域の55歳以下の不安定労働者等を対象に相談・就業支援を実施しました。協力事業所登録状況10社、支援実施状況12名でした。

また、土日祝のあいりん労働公共職業安定所の待合室で、いきいき清掃講座を開催すると共に旧あいりん総合センターの閉所に伴って、待機や手洗い等に使用できる施設の不足に対応して、待合室の一般開放を行いました。また就労支援の一環としてのべ698人の就労機会を作りました。

【事業費総額13,194,915円、うち人件費10,908,427円、事務費1,197,000円、消費税1,080,488円。】



④ あいりん日雇労働者等自立支援事業相談支援

大阪市から「あいりん日雇労働者等自立支援事業」内「相談支援」を受託、実施しました。あいりん地域の日雇労働者等に対し、特別清掃やあいりんシェルターと連携しつつ、健康相談や生活相談等を行い、就労自立、野宿からの脱出を助ける支援を行いました。就業支援員等から現場作業のようすを報告してもらいながら、体調が思わしくない／高齢などの方を相談し、寄り添い型の支援を行いました。

歯科相談会・健康相談会を医師・看護師・保健師との協働で開催しました。歯科相談利用者は155人、健康相談利用者は297人でした。

歯科衛生士による歯みがき講座、西成区結核対策と協力した「よし行くぞ 守る健康 レントゲン」健康セミナーを各1回開催しました。

実人数1,833人（うち、新規相談実人数416人）、のべ11,573人の相談を行いました。相談のべ人数の内訳は、就労相談400人、生活保護相談1,566人、健康・保健支援1,681人、その他相談・各種支援7,936人、歯科相談会155人、健康・生活相談会297人。

【事業費総額27,938,753円。うち人件費24,219,300円、その他経費1,649,916円、消費税2,069,537円】

⑤ 西成区と協働した結核検診

8月19日～22日、特掃登録者を対象に結核検診を実施しました。380人が受診しました。

うち、要医療者は4人でした。精密検査後1人が結核と診断されました。

⑥ 大阪府済生会と協働した健康診断

9月9日～12日に大阪府済生会の協力のもと、輪番労働者589人に対して、健康診断を実施しました。10月以後健康診断の結果をもとに、相談支援を行い、受診勧奨・同行、治療継続の支援を行いました。



(4) 社会的雇用創出事業

① 自転車リサイクルシステムの構築

阿倍野区文の里商店街にあるチャリティ自転車ボタリンを経営しました。事業としては赤字であり、赤字の解消に向けた活動が急ぎの課題です。



② 公園管理就労体験事業

住之江公園においては大代興業株式会社と、住吉公園においては株式会社美交工業と、都市公園管理共同体を構成し、指定管理者として運営の一端を担いました。当機構から両公園で61人に対して、1,157人日の職場体験講習を活用した就労体験の機会を提供することができました。

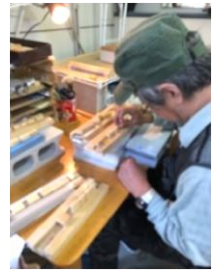
③ 公園管理経験者訓練事業

住之江公園において灌水、除草、樹木剪定、植栽などの作業に、園芸講習の経験者及び地域密着型就労自立支援修了者7人が参加、のべ459人日従事しました。

④ 内職作業提供事業

民間企業からの受注により、就労の前段階に生活リズムを整えるなど準備期間が必要な方、疾病や障がい等のために、すぐには就労に結びつきにくい方に対して、内職作業を提供しました。

就労意欲の助長と収入の増進のために、特掃登録者に作業を提供しました。２０１９年度より就業開拓の結果、ダイレクトメールの箱組み立て作業が増えました。２４６日稼働し、のべ１，７３２人が作業に従事しました。



⑤ 住之江公園野球場売店プレイヤーズの運営

住之江公園ＪＶの一員として、公園活性化の一環として、７月に売店プレイヤーズを運営しました。釜ヶ崎の不安定就労者に就労機会を提供しました。



(5) 地域活性化事業

① 西成区単身高齢生活保護受給者の社会的つながりづくり事業（ひと花プロジェクト）

大阪市西成区より受託し、単身高齢生活保護受給者の社会的つながりづくりと地域貢献による西成区のイメージアップに取り組みました。金銭の預かりや服薬の見守りが必要な方にサービスを提供したり職業体験を実施しました。２０１９年度は、２０１８年度に引き続き、登録者ひとりひとりがプレイヤーとなれるよう話し合いの機会を設け、自主決定できる機会を増やし、活性化を図りました。ひと花プロジェクト連合体（まちづくり今宮、HEALTH SUPPORT HINATA、こえとことばとこころの部屋、釜ヶ崎支援機構）で事業運営を行いました。

【事業費総額１２，６３５，９１２円、内消費税９３５，９９３円】



② 西成版サービスハブ構築・運営事業（どーん！と西成）

昨年度、新たに西成区より受託しました。事業の目的は、次の3つです。（１）稼働能力の把握が困難である生活保護受給者に対して実効性のある支援を行い、就労やボランティア活動などにつなげ、社会への再包摂を促すことにより、自身の能力向上（エンパワーメント）を図るとともに、支援の過程におけるアセスメント等を通じて、支援に必要な見立てを行う。（２）また、これらの者が気軽に立ち寄ることができる場所を提供することにより、支援を行う前提としての信頼関係の構築や地域とのつながりの創出を図っていく。（３）そして、これらの取組により、「まちづくりビジョン有識者提言」（２０１８年（平成３０年）１０月）におけるテーマとして提唱されている「再チャレンジが可能なまち」を実現していく。８月より開始し、利用者数は５９人、のべ就労実績は２３件でした。ヨリドコ西成連合体（萩之茶屋地域周辺まちづくり合同会社、サポーターハウス連絡協議会、こえとことばとこころの部屋、釜ヶ崎支援機構）で事業運営を行いました。

【事業費総額 １７，０９９，５１８円 内消費税 １，４８３，５１９円】



※以上事業費は当初見込みで記入しています。

(6) その他の事業

① 「ビッグイシュー」販売支援事業

ビッグイシュー本社より遠い大阪南部での販売者の利便をはかるため、仕入れ中継点としての役割を果たすとともに、さまざまな相談に応じました。販売希望者を受け付け、ビッグイシューへの橋渡しを行いました。

② NHK 歳末助け合い

２０１９年～２０年の越冬の取り組みに、特別配布を受け、非常食・下着等を購入し、三角公園や医療センター前布団敷きでの配布を行いました。生活保護申請時の緊急支援にも活用しました。

③ ネットワーク推進

高校・大学等の学校関係者・学生、人権団体、法律家団体、労働団体、府内・他府県の地域団体等幅広い層から釜ヶ崎地域視察を受け入れました。特別清掃での労働体験を受け入れました。

西成区関連では「区政会議」「環境福祉・専門部会」「あいりん地域まちづくり会議」「地域

福祉アクションプラン策定・推進委員会」「包括支援センター運営協議会」に委員として参加しました。あいりん地域モデルケース検討会議に参加しました。

大阪市社会福祉協議会に評議員として参加しました。

西成区社会福祉協議会、今宮社会福祉協議会、NPO法人まちづくり今宮に理事として参加しました。

「ホームレス支援全国ネットワーク」に副理事長として参加しました。

「日本ソーシャルインクルージョン推進会議」「共生型経済推進フォーラム」「NPOまちづくり今宮」に参加。「環境福祉学会」「ソーシャルファームジャパン」「大阪環境ネットワーク」に法人として参加しました。

ワーカーズコープとの提携関係を深め、月1回の定期協議を行い、情報の共有を進めました。「日本社会連帯機構」の会員となりました。神奈川県で10月に行われたワーカーズコープ今協同がつくる全国集会に参加しました。

京丹後市の黒部の居場所ひまわりと農業交流・特掃就労体験を行いました。ひと花プロジェクト、内職センターから利用者が参加しました。

歯科保健研究会主催の『生活困窮者に対する健康支援セミナー』で発表しました。

2月、ソーシャルファーム・ジャパン・サミット in 鹿児島に参加しました。



④ 炊き出しによる食事の支援

釜ヶ崎就労・生活保障制度実現をめざす連絡会（反失業連絡会）と協働し、炊き出しによる食事支援を行いました。

⑤学習会など

『仕事づくりフォーラム釜ヶ崎 ～この西成、大好きやねん～』

日時：2019年7月13日 13:00～16:45

会場：あいりんシェルター居場所棟

（第一部）「地域での仕事おこしと、まちづくりについて」

講演：萩之茶屋地域周辺まちづくり合同会社 西口宗宏さん

コメンテーター：大阪市立大学教授 福原宏幸さん

登壇者：西本精五さん（NPO法人フリーヘルプ）田岡秀朋さん（株式会社ナイス）伊藤剛さん

（ワーカーズコープ連合会）他

（第二部）「仕事に繋げよう いきいき清掃講座」

お仕事マッチ清掃講座篇



第25回釜ヶ崎講座講演の集い 仕事づくり集中講座5

『農業分野の仕事づくりを釜ヶ崎で！ ～農福連携と産消提携の先進事例に学ぶ～』

日時：2019年12月14日 17:30～20:30

会場：エルおおさか

講演：新井利昌さん（埼玉福興株式会社）小島希世子氏（株式会社えと菜園 NPO 法人農スクール）



8. 社員総会の開催状況

第20回社員総会

日時 2019年6月22日 午後6時～8時 場所 釜ヶ崎支援機構南分室2階

正会員25名中21名（内委任状10名）が参加して、第20回社員総会を開催しました。

事業報告・会計報告・事業計画・予算等を審議し、採択しました。

9. 理事会の開催状況

理事会は1回開かれ、当法人の活動の大方針について論議し決定しました。

第31回理事会議事 日時 2019年6月22日 午後5時～5時45分 釜ヶ崎支援
機構南分室2階